

ビジネス

サステナブルデザイン研究所

神奈川県／横浜市港北区

data

名称	サステナブルデザイン研究所
住所	神奈川県横浜市港北区

名称 ▶ サステナブルデザイン研究所

所在地 ▶ 神奈川県横浜市港北区

TEL ▶

オーナー紹介



出身業界	電気機器
開業時年齢	50代
起業業種	コンサルタント、コーチング、ファイナンシャルプランナー
開業資金	100万円
独立起業支援期間	5ヶ月
facebook instagram	https://www.facebook.com/Sustainable.Design.Research https://www.instagram.com/sustainable_design_research/

photo

Q. 独立・起業のきっかけはなんですか？

A. 入社以来 25 年間、オーディオ・ビジュアルを中心とした商品デザインに従事してきました。また、退職の 5 年前からは役職定年を見据え、サステナブルデザイン（環境配慮型商品のデザイン）を部門内で任されるようになりました。これを機に、退職後も社会貢献に寄与できるデザイン活動を継続したいとの想いが芽生え、「株式会社サステナブルデザイン研究所」を起業する決意を固めました。

Q. 独立・起業するまでに苦労したことなどがあれば教えてください

A. 開業にあたっては、定款の作成や法務局への法人化手続きなどを自ら行いましたが、パソナキャリアのコンサルタントの方のご指導のおかげで、スムーズに法人化まで至ることができました。そのため、大きな苦労を感じることはありませんでしたが、デザイン業は「商品」や「商材」としての実体が見えにくいため、商品価値をお客様にどう認識していただくか（＝顧客開拓）が大きなポイントであると実感しています。

Q. 事業の特徴と強みを教えてください

A. 大手電機メーカーのデザイン部門で 30 年間、商品デザインに携わってまいりました。担当機種にとどまらず、統括者として百種類以上の商品デザインを経験しています。開業後も、デザインを担当させていただいたいくつかの案件で『日本グッドデザイン賞』を受賞するなど、評価をいただいております。また、最近デザインを手がけた『空気質センサー』は、麻布台ヒルズ・オフィス棟に採用されています。商品デザインは使い勝手を含めて設計することが重要であり、近年ではタッチパネル等の画面操作を用いた商品が増えているため、グラフィックユーザーインターフェース（GUI）デザインにもこれまでの経験を活かし、ハイブリッドなデザインとコンサルティング業務の両立が可能となっています。

Q. これからのビジョンについてお話しください

A. 今は非常識でも未来の常識（Next Standard）を創造すること。持続可能な社会システムを実現するためには、今後さらなる技術革新や社会変革が求められます。言い換えれば、サステナブルデザインとは、社会そのものに働きかける「グランドデザイン」とも言えます。今後は、商品デザインという枠を超えて、多様な専門領域との協働体制を築きながら、地球環境に配慮した社会のグランドデザインの実現を目指します。「モノ」から「コト」へ、「現在」から「未来」へと視点を移し、既成概念にとらわれない広義のデザイン活動を通じて、社会への貢献を果たしてまいります。

Q. これから起業を目指す人へ、メッセージをお願いします

A. 起業してまだ日が浅いため、大きなアドバイスはできませんが、起業とはこれまでの自分自身の歩みを棚卸しすることから始まるのではないかと感じています。私の場合、これまで取り組んできた仕事の延長線上に起業があり、あまり「チャレンジ」という感覚はなく、「第 2 の人生」、つまりこれまでの自分が試されていると感じています。自分の経験が他者とうどう差別化できるかが重要なポイントだと思います。そして何よりも「世のため、人のため」に尽くせるよう、今後も努力を重ねていきたいと考えています。